

令和8年5月29日(金)

都市センターホテル コスモスホール



全国医学部長病院長会議
令和8年度定例社員総会
議 事 録

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

一般社団法人 全国医学部長病院長会議 令和7年度 定例社員総会議事録

1. 開催日時 令和8年5月29日（金）13時00分～18時00分
2. 開催場所 東京都千代田区平河町2-4-1
都市センターホテル コスモスホール
3. 会員(社員)総数 164名
4. 出席会員(社員) 164名（うち委任状出席18名）
5. 出席理事 相良博典、鶴田大輔、志馬伸朗、池松和哉、西川祐司、三木隆司、南學正臣、
秋田恵一、池田隆徳、河野博隆、渡邊裕司、石井 優、竹谷 健、山本 健、
渡辺 敦、麻生好正、齋藤 繁、山岡邦宏、山本善裕、大黒正志、池内浩基、
永井 敦、杉元幹史、野口 満、平井俊範
6. 出席監事 新井 一、富澤 一仁
7. 議 長 会長 相良 博典
8. 議事録作成者 会長 相良 博典
9. 議事の経過の要領及びその結果
上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 相良博典 は定款の規定により議長席に着き開会を宣し、議事に入った。

〔会長報告〕

会長から、前回の令和7年5月30日定例社員総会以降から本日までの活動等について報告があった。

〔確認事項〕

前回の令和7年5月30日定例社員総会議事録の確認が行われた。

〔報告事項〕

報告1：令和7年度事業報告について

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、4月24日開催の理事会において承認された、令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）における本会議の事業状況について、別紙に基づき詳細に報告を行った。

〔審議事項〕

第1号議案 令和7年度収支決算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）における計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 新井 一と富澤一仁は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

第2号議案 令和8年度事業計画承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和8年度（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）の事業計画案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第3号議案 令和8年度収支予算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和8年度（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）の収支予算案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第4号議案 役員の選任について

議長は、定款の規定により理事及び監事の全員が本社員総会終結をもって任期満了となるため、その改選につき別紙のとおり選任したい旨の説明があった。

議長がこれを議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

重任理事 石井 優、相良博典

就任理事 石橋恭之、 宮腰尚久、 宮澤啓介、 大上研二、 小泉修一、
佐藤 昇、 奥山隆平、 山本靖彦、 廣瀬雄一、 矢野貴人、
和田 淳、 竹中克斗、 齋藤光正、 中西浩一、 南須原康行、
藤森敬也、 川合謙介、 山路 健、 遠藤 格、 大坪毅人、
藤枝重治、 佐久間肇、 松田公志、 西村好晴、 松永和人、
北岡裕章、 賀本敏行、 石塚賢治

重任監事 富澤一仁

就任監事 湯澤由紀夫

〔講演会〕

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| (1) これからの大学の役割と地域医療 | 日本医師会 城守 国斗 常任理事 |
| (2) 医学教育の現状と課題 | 文部科学省高等教育局医学教育課 日比 謙一郎 課長 |
| (3) 人生を思い切り生きるために我々はどうあるべきか | 細川護熙 元内閣総理大臣 |
| (4) 新たな地域医療構想について | 厚生労働省医政局地域医療計画課 西嶋 康浩 課長 |

〔委員会報告事項〕

以下の各委員会から、別添資料に基づき、委員会報告がなされた。

(1) 医学教育委員会／南學 正臣 委員長

委員会を開催し、CATO や JACME にかかる大学の財政的負担と教員の労力について、また、5 年に一度の厚生労働省医師国家試験等改善検討部会が開かれる年であるため、国家試験改善に関しても検討した旨の報告があった。

(2) 大学医学部入学試験制度検討小委員会／秋田 恵一 委員長

今年度実施予定のアンケートを作成中であり、多様な入試の実態と効果について分析する予定である旨の説明があった。

(3) 国家試験改善検討ワーキンググループ／河野 博隆 座長

昨年 9 月に厚労省と文科省に医師国家試験に関する要望を提出した旨の報告があった。今年度は 5 年に一度の医師国家試験等改善検討部会が開催される年にあたるため、本年も 2 月に行われた第 120 回医師国家試験に関するアンケート調査を実施中であり、その結果を分析して引き続き医師国家試験の改革について検討する旨が示された。会員からは、学生は臨床実習でも国試に関係することを希望しており、本来の教育への影響を懸念する意見があった。

(4) 卒後臨床研修検討ワーキンググループ／松永 和人 座長

今年度から本格実施される広域連携型プログラムについて、本年 3 月に準備状況についてのアンケートを実施した旨の報告があった。また、令和 4 年策定のグランドデザインの見直しと今後の卒後臨床研修制度のあり方について、引き続き検討する旨が示された。会員からは、派遣元と派遣先の連携の必要性、臨床研修制度の研修先の見直しの必要性等について意見があった。

(5) 専門医に関するワーキンググループ／古川 博之 座長

ワーキンググループにおいて、サブスペシャリティ、シーリング、国際的な研究力の低下に関して検討があった旨の報告があった。また、日本専門医機構のガバナンスに関する課題について説明があった。

(6) 共用試験検討委員会／関根 道和 委員長

本年 3 月に厚生労働省、文部科学省、医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）に対して要望書を提出した旨の報告があった。要望内容として、共用試験全般に関する要望、CATO の財政再建計画と年会費・受験料に関する要望、実施大学への財政支援および CBT・OSCE センターの設置に関する要望について説明があった。今後は、軽減措置により負担が軽減されたか等の現状の把握や課題について検討していく旨が示された。

(7) 研究・医学部大学院のあり方検討委員会／石井 優 委員長

文部科学省の大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業により、大学・大学病院の魅力向上・人材確保のための調査・研究を行い報告書にまとめた旨の報告があった。また、間接経費の取扱いについて日本製薬工業協会の方針を確認したところ、具体的な用途を示して、その内容と金額が妥当であれば提供可能とのことであったが、引き続き国立大学医学部長会議等とも連動して検討する旨の説明があった。

(8) 地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会／大脇 哲洋 委員長

文部科学省の委託事業により、地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査と、本年新たに実施した地域枠学生の現状の意識調査の結果、また、本年 3 月に実施した意見交換会の内容も含めて報告書にまとめ、文部科学省に提出した旨の報告があった。

(9) 患者安全推進委員会／木下 浩作 委員長

医療事故調査制度に関するアンケート調査を実施し、その結果を医師会雑誌に投稿した旨の報告があった。また、昨年 12 月に日本医療安全調査機構との意見交換会、本年 5 月に司法関係者と日本医療安全調査機構との交流会を実施した旨の報告があった。

(10) 大学病院の医療に関する委員会・DPC に関する WG／眞庭 謙昌 委員長・座長

昨年 8 月に令和 8 年度診療報酬改定に関する重点要望事項を厚生労働省へ提出した旨の報告があった。また、逆紹介割合に関する調査を実施し、この結果を中医協の入院・外来医療等の調査・評価分科会にて報告した旨の説明があった。

(11) 経営実態・労働環境ワーキンググループ／林 篤志 座長

診療報酬改定の中間年に実施している大学病院経営実態調査の結果を報告書にまとめた旨の報告があった。今回の調査ではベースアップ評価料、診療看護師(NP)に関する質問を新たに設けた。

(12) 臨床研究・利益相反検討委員会／寺内 康夫 委員長

本年 4 月の企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインの改定、企業からの講演依頼等の謝金の受領について説明があった。また、平成 30 年策定の医学系研究機関における組織 COI のガイダンスの改定については、日本医学会と連携しながら検討する旨が示された。

(13) DE I 推進委員会／林 由起子 委員長

2 年に一度調査を実施しており、昨年 7 月に医師の働き方改革開始 1 年後の DE I 推進環境の変化の実態調査を実施し報告書にまとめた旨の報告があった。今回の調査では特に、男性医師の育児休業の取得状況並びに介護についての取り組みについて調査した。会員からは、男性医師の育児休業に関する周知と現場の理解の必要性について意見があった。

(14) 広報委員会／竹谷 健 委員長

広報活動として、広報 78 号を本年 5 月に発刊、また、昨年 11 月に大学病院の実情と現状についての記者会見、本年 4 月に大学・大学病院の現状、医師の働き方改革、DE I の推進についての記者会見を開催した旨の報告があった。

(15) 医師の働き方改革検討委員会／前田 嘉信 委員長

本年 1 月に実施した医師の働き方改革に関するアンケート調査の結果に基づき、大学病院の経営状況の悪化から診療時間が多くなり研究・教育の時間が少なくなっている実態、AI・ICT を活用した負担軽減の導入状況、給与の実態等について説明があった。

(16) カリキュラム調査委員会／伊野 美幸 委員長

2 年に 1 度実施しているカリキュラム調査を令和 7 年度に実施し、結果を報告書にまとめて冊子体で発行した旨の説明があった。

(17) JACME の課題検討(臨時)委員会／鶴田 大輔 委員長

JACME の諸課題への対応を支援するため、本年 1 月に臨時で委員会を設置した旨の説明があった。委員会では、運営体制の強化と社員総会等の双方向の議論の場の構築について意見があり、また、評価の簡素化、日本独自のコンテキストの反映、コスト削減、評価者の質、に関しても提案があり、すでに二巡目の評価を終えた大学に不公平が生じないように配慮しながら対応するように JACME に求めた旨の説明があった。

提案議題があった近畿地区でも同様の議論があった旨の報告があった。

〔地区部会報告 提案議題〕

(1) JACME 認証評価について／近畿地区（説明者：大阪公立大学 鶴田大輔医学部長）

委員会報告(17)において協議

(2) 医学部臨時定員の削減方針への対応について

／東北・北海道地区（説明者：弘前大学 石橋恭之医学部長）

文科省、厚労省から地域枠を恒久定員内へ移行し臨時定員を縮小する方針が示されているが、北海道・東北地区の多くは依然として医師少数区域であり、医師の確保が喫緊の課題であるため協議の提案があり、意見が交わされた。

(3) 卒後臨床研修制度の現状、課題等について／九州地区（説明者：熊本大学病院 平井俊範病院長）

現行の卒後臨床研修制度は導入から 20 年以上が経過し、都市部への研修医偏在による地方大学の専攻医減少、「直美」問題、アカデミア離れ、臨床実習との接続不足、過度なリクルート競争などの課題が顕在化している。これらを踏まえ、学生実習と初期研修をシームレスに接続し、初期研修期間の見直しや大学病院との接点を確保した研修体制など、制度全体の抜本的な再構築について検討することを提案し、意見が交わされた。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

令和 8 年 5 月 2 9 日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議 長 会長（代表理事）

相良博典

